

会誌投稿原稿作成ガイド*

テラメカニックス事務局**

How to prepare a camera-ready manuscript for submission to “Terramechanics”

Office of The Japanese Society for Terramechanics

Abstract

In this paper, we summarized how to make a camera-ready manuscript for our Japanese journal of “Terramechanics.” Please read this carefully before your submission to our office.

Keywords: Submission, paper preparation, recommended style

1. 投稿手続きについて

投稿の一般的な注意事項を以下に示します。

- 頁数は6頁以内に制限します。頁数は印刷費に大きく影響しますのでよろしく願いいたします。
- 原稿はPDFファイルにて、下記の研究会Webページからアップロードをお願いします。ご不明な点は下記事務局までお問い合わせください。
- 都合により投稿されない場合でも、その旨をお早めにお知らせ下さい。
- 投稿締切日は原則として、講演年の翌年の2月末日とします。

原稿投稿先

Web : <https://www.terramech.org/>

(「各種申し込み・手続き」から投稿してください。)

問い合わせ先

〒606-8502 京都市左京区北白川追分町
京都大学農学研究科地域環境科学専攻内
テラメカニックス研究会事務局
TEL : 075-753-6178
E-mail : office@terramech.org

なお、投稿原稿の著者校正は行いませんので、予めご了承ください。投稿に関してのお問い合わせは事務局までお願いします。

2. 原稿作成要領

(1) 版下原稿の書き方

A4版の白紙に、タイトルや本文、図表などをレイアウトして下さい。印字には300dpi以上のプリンタを使用して下さい。印刷物(会誌)はB5版となりますので、87%に縮小されます。以下のフォントはWindowsの標準のものですが、同等のフォントであれば構いません。カラーの写真、図面などは白黒印刷になりますので、ご注意ください。

(2) スタイル

A4版縦置き、横書き、余白左22、右22、上25、下30mm、43行(行間2.1mm)、全角47字に設定して下さい。英数字は欧文フォント、カタカナは全角、および括弧類は和文フォント(半角)を使用して下さい。第1頁は3行(約17mm)のスペースを挿入してから、タイトルを記入して下さい。また、英文タイトルの前と英文著者の後にはそれぞれ横線を挿入して下さい。第2頁以降は第1行目から書き出して下さい。

* 20XX.1.1 第n回テラメカニックス研究会

** 京都大学農学研究科地域環境科学専攻内 〒606-8502 京都市左京区北白川追分町 Tel: 075-753-6178
Graduate School of Agriculture, Kyoto University, Kyoto 606-8502, JAPAN

[以下の指定箇所以外：漢字・仮名 MS 明朝 10pt, 英数字 Times Roman 10pt, 和欧文間スペース, 両端揃え]

(3) タイトル

論文の内容を簡潔に表すものを和文 30 字以内, 英文 15 ワード以内 (主な単語は先頭文字のみ大文字) で付けて下さい。副題の使用はなるべく避けて下さい。

[和文タイトル：漢字・仮名 MS ゴシック 18pt, 英数字 Arial or Gothic 18pt, 中央揃え]

[英文タイトル：Times Roman Bold 12pt, 中央揃え]

(4) 著者

和文と英文の両方とも記載して下さい。和文では区切り文字として”・”(全角の中心点)を使い, 著者姓名が 3 文字以内ときのみ姓と名の間に全角の空白を挿入して下さい (参考文献も同様)。英文では区切り文字として”, ”(半角のカンマ+空白)を使い, 著者姓名は名, 姓 (姓のみ全て大文字) の順にして下さい。

[和文著者：漢字・仮名 MS 明朝 12pt, 中央揃え]

[英文著者：Times Roman Bold 11pt, 中央揃え]

(5) 脚注

第 1 頁下部の脚注の第 1 行に講演年月日 (西暦), 講演会の名称 (第 n 回テラメカニクス研究会) を記入して下さい。その次の行以降に, 著者の勤務先 (少なくとも部局まで), 住所 (7 桁郵便番号を含む) および電話番号 (和文のみ) を和文と英文の両方とも記入して下さい。

[漢字・仮名 MS 明朝 10pt, 英数字 Times Roman 10pt]

(6) Abstract

段落の先頭は半角で 7 字目からのインデントを施し, 7 行以内にまとめて下さい。

[Times Roman 11pt, 両端揃え]

(7) キーワード

内容を十分に表すキーワードを英語で 2 行以内で, ”Keywords:”(Bold) に続けて記入して下さい。固有名詞でなければ, 小文字で始めて下さい。”and”は使わず”, ”(半角のカンマ+空白) で区切り, 2 行目はインデントを施して下さい。

[Times Roman Italic 10pt, 中央揃え]

(8) 見出し

見出しは以下の 3 レベルまでとし, 表記を統一します。見出し番号に続けて, 半角の空白を挿入し見出し語を記入して下さい。2 行以上に渡る場合は, 2 行目以降にインデントを施して下さい。見出しが最下段に来る場合は改段して最上段に持って来て下さい。

a) 第 1 レベル (章)

1. (ピリオドは Arial or Gothic)

見出しの上のみに 1 行のスペースを挿入して下さい。

[漢字・仮名 MS ゴシック 10pt, 英数字 Arial or Gothic 10pt, 左揃え]

b) 第 2 レベル (節)

(1) (括弧は Arial or Gothic)

第 1 レベルに続くときを除き, 見出しの上のみに 1 行のスペースを挿入して下さい。

[漢字・仮名 MS ゴシック 10pt, 英数字 Arial or Gothic 10pt, 左揃え]

c) 第 3 レベル (項)

a) (括弧は Arial or Gothic)

上下にスペース行を設けないで下さい。

[漢字・仮名 MS ゴシック 10pt, 英数字 Arial or Gothic 10pt, 左揃え]

(9) 本文

2 段組 (段間 10mm, 一段当たり全角 21 字) で記入して下さい。最終ページは左右の段末を揃えて下さい。句読点は全角の”, ”。”, ””に統一します。

[漢字・仮名 MS 明朝 10pt, 英数字 Times Roman 10pt, 両端揃え]

(10) 式および記号

式や図表に使われている変数や定数を表す記号は通常使われているものを使用して下さい。記号が最初に現れる箇所にその定義を行って下さい。同一記号を 2 つ以上の意味で使うことはお止め下さい。

数式はできるだけ簡単な形で表現し, 式の展開や誘導の部分は少なくして文章で補って下さい。数式は全角で 2 文字目から書き出し, ”(1)”のように式番号を半角括弧書き (括弧, 数字とも Times Roman) で

右詰めで記入して下さい。数式を本文中で引用するときは、”式 (1)”のようにして下さい。

$$p = kz^n \quad (1)$$

[記号 Times Italic 10pt, 数字・演算記号 Times Roman 10pt, 演算記号 MS 明朝 10pt, 上下添字 6pt]

(11) 単位

原則として SI 単位系を使用して下さい。記号の後に単位が続くときは、単位を半角括弧 (MS 明朝) で括弧して下さい。また、数値の後に単位が続くときは、括弧を用いないで下さい。

[英字 Times Roman 10pt]

(12) 図表

図表番号 (和文: ”図-1”, 英文: ”Fig.1”) および表題を必ず付けて下さい。和文, 英文は問いませんが, どちらかに統一して下さい。表題が 2 行以上に渡る場合は, 2 行目以降にインデントを施して下さい。鮮明でひずみのない図表を 1 段幅いっぱい (約 75mm) あるいは 2 段ぶち抜きで配置して下さい。図表は原則として, 本文に説明が出てきた後に挿入し, 本文の最後にまとめてレイアウトするのはお止め下さい。

[図表写真の表題および本文中の番号 (和文): 漢字・仮名 MS ゴシック 10pt, 英数字 Arial or Gothic 10pt, 中央揃え]

[同 (英文): 英数字 Times Roman Bold 10pt, 中央揃え]

(13) 写真

十分な大きさと鮮明なものを配置してください。カラーでも構いませんが, カラー印刷はできません。

(14) 結論

本文の最後に, 第 1 レベルの見出しを付けて結論 (表記は自由: 結論, 結び, まとめ, あとがき, 摘要など) を必ず書いて下さい。箇条書きにする場合は, 番号を付けて 2 行目以降にインデントを施して下さい。

(15) 参考文献

参考にした文献は引用順に番号を付けて本文末にまとめて記載し, 本文中には引用箇所の右肩に対応

する番号をつけて下さい。番号 (”1”) 著者名: 論文名, 雑誌名 (書名), 巻号, 頁, 発行年 (月) の順に記入して下さい。英文雑誌の著者名はイニシャル, 姓 (先頭のみ大文字) の順にして下さい。参考文献が 2 行以上に渡る場合は, 2 行目以降にインデントを施して下さい。和文, 英文とも末尾に”.” (Times Roman) を付けて下さい。著者数が多くても, 参考文献リストには全ての著者名を記載して下さい。ただし, 本文中で引用する場合は, 第一著者のみを書き, 後を”ほか”, ”ら”, ”et al” と省略して構いません。

(16) 謝辞・付録・注

謝辞は結論の後に置いて下さい。見出しとコロンをゴシック体で書き, その直後から文章を書き出して下さい。付録がある場合は謝辞と参考文献の間に置いて下さい。本文中で説明するか, もしくは付録にするかとして, 本文には脚注はできるだけ使わないで下さい。

3. その他

(1) 修正依頼について

提出原稿の書式が上記ガイドラインのものとはかなり異なる場合, 事務局より投稿者に修正依頼をすることがあります。全体的な体裁は過去の会誌をご参照下さい。

(2) 別刷り

投稿者は実費にて投稿論文の別刷を購入することができます。原稿投稿と同時に申し込んでいただくこととなります。別刷申し込みは原稿アップロード時に Web のフォームに必要事項を入力してください。

参考文献

- 1) H. Nakashima, J. Y. Wong: A three-dimensional tire model by the finite element method, *Journal of Terramechanics*, **30**(1), 21–34, 1991.
- 2) 田中 孝, 笈田 昭: 車両・機械と土系の力学—テラメカニクス—, 学文社, 1993.
- 3) 室 達朗, 重松尚久, 安藤信之: 2 軸 4 輪車両の走行形態と車輪幅の接地圧分布に及ぼす影響について, *テラメカニクス*, **17**, 13–18, 1997.

(改定: 2019 年 1 月 10 日)